

# MaxTester 715D last-mile OTDR

ポイント・ツー・ポイント (P2P) リンク、ラストマイルのインストールとトラブルシューティング



■ 最前線のシングルモード・ファイバー敷設作業者に最適な、タブレットにインスパイアされたデザインの、フル機能を備えたエントリーレベルの専用 OTDR。



## 主な機能

屋外作業所向けに構築された、頑丈で使いやすく、軽量なタブレットにインスピレーションを受けたデザイン

ハンドヘルド業界最大の7インチ、屋外対応タッチスクリーン

12時間の自動運転

デッドゾーン：イベントデッドゾーン (EDZ) 0.9m、減衰デッドゾーン (ADZ) 3.6m

最大32dBのダイナミック・レンジ

スワップアウト コネクタ。必要に応じていつでも交換可能で、過度のサービス コストやダウンタイムを発生させることなく、長期にわたり最適なパフォーマンスを実現します。

iOLM-ready：ワンタッチで複数の検査を実施し、Go/No Goの結果をわかりやすいビジュアル形式で表示します。

3年保証

## アプリケーション

FTTxラストマイルの設置とトラブルシューティング

ショート・アクセス・ネットワーク・テスト

FTTA ファイバー DAS の設置

GATV/HFCネットワーク試験

## 関連製品とアクセサリ



ファイバー検査範囲  
FIP-400B (WiFiまたはUSB)



高度なデータ後処理ソフトウェア



ソフトパルスサプレッサーバッグ  
SPSB



スワップアウト・コネクタ

## ハンドヘルドOTDR… 実績のある性能で

MaxTester 700Dシリーズは、実績のあるタブレット型、軽量かつ堅牢なOTDR MaxTesterプラットフォーム上に構築されています。使い慣れた7インチの屋外用強化タッチスクリーンは、直感的なWindowsのようなGUIにより、迅速な学習曲線を保証し、前例のないユーザー体感を提供し続けます。OTDR環境は、アイコンベースの機能、即時起動、自動マクロバンド・ファインダーに加え、改良されたオート・モードとリアルタイム・モードを提供します。

MaxTester 700Dシリーズは、世界有数のメーカーによる本物の高性能OTDRのラインアップです。EXFO社の定評あるOTDRの品質と精度を、最高の光学性能とともに提供し、いつでもすぐに結果を得ることができます。

12時間という驚異的なバッテリー寿命は、技術者を失望させることはありません。VFL、パワーメーター、USBツールなどのプラグアンドプレイ・ハードウェア・オプションは、あらゆる技術者の作業を容易にします。

最も重要な点として、MaxTester 700Dシリーズには、インテリジェントOTDRベースのアプリケーションであるインテリジェント・オプティカル・リンク・マップ（iOLM）が搭載されています。この高度なソフトウェアは、最も複雑なトレース解析でさえ、ワンタッチで簡単に行うことができます。

最終的に、MaxTester 700D シリーズは手に収まるほど小さく、すべてのニーズを満たすのに十分な大きさです。

## 投資を盗難から守ります

保護された測定器は闇市場では価値がないため、泥棒にとってはまったく魅力的ではありません。当社のセキュリティ管理オプションにより、管理者はMaxTesterに改ざん防止セキュリティ・プロファイルを定義してロードすることができ、ホーム画面にプロパティ・メッセージを表示し、ユーザー・パスワード（永久または更新可能）で保護することができます。



## アイコンベースのマッピングをお探しですか？

### リニアビュー（すべてのEXFO OTDRに付属）

2006年からOTDRに搭載されているリニアビューは、各波長ごとにアイコンを直線的に表示することで、OTDRトレースの解釈を簡素化します。このビューは、従来の単一パルス トレースから取得されたグラフ データ ポイントを反射アイコンまたは非反射アイコンに変換します。合否のしきい値を適用することで、リンクの不具合をピンポイントで特定することが容易になります。



この改善されたリニア表示は、ファイバー・リンクを解析するために切り替えを行うことなく、OTDRグラフとリニア表示の両方を表示する柔軟性を提供します。

このリニア表示は、単一のパルス幅トレースのOTDR解釈を簡素化しますが、それでもユーザーはOTDRパラメーターを設定する必要があります。さらに、ファイバー・リンクの特性を完全に評価するために、複数のトレースを実行する必要がある場合があります。iOLMがこれを自動的に実行し、より正確な結果を得る方法については、以下のセクションを参照してください。

## スワップアウト・コネクタ

MaxTester700D OTDRシリーズにはスワップアウト・コネクタが付属しており、テスト・ユニットをサービスセンターに送ることなく、必要なときに簡単に交換することができます。これにより過度なメンテナンスコストやダウンタイムを発生させることなく長期間にわたって最適な性能を維持することができます。OTDRの光コネクタの健全性をオンボード診断ツールでチェックし、必要な場合にのみコネクタを交換することができます。

最高の光学性能を維持し、ダウンタイムを発生させません。

コネクタの磨耗は光学性能に影響を与え、不正確さの原因となることがあります。現場で直接コネクタを交換できるので、ユニットをメーカーに返したり、修理にお金をかけたりする必要がありません。

### 校正計画を軌道に乗せる

コネクタを交換しても、校正日は有効です。予定より早く校正する必要はありません。

### 必要なときだけ交換する。

光ポートの診断は、内蔵のコネクタ・ヘルス・チェッカーによって行われ、摩耗したコネクタを必要なときだけ現場で交換することができる。



OTDR試験には、さまざまな課題が付きまとう。



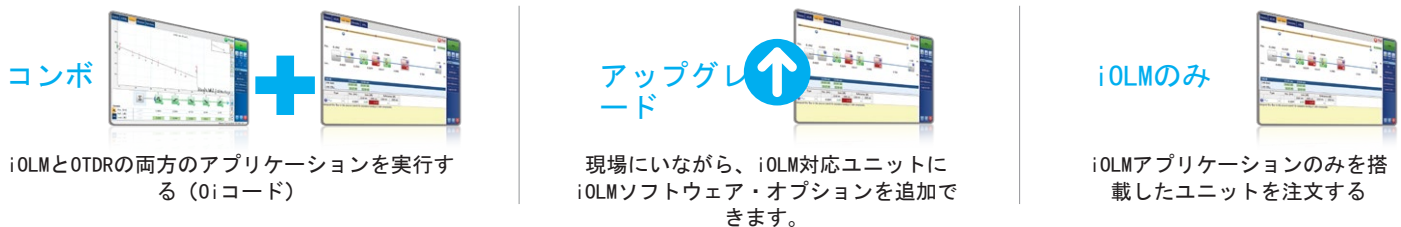
このような課題に対応するため、EXFOは光ファイバー試験の優れた方法を開発しました：iOLMはOTDRベースのアプリケーションで、パラメータの設定や複雑な複数のOTDRトレースの解析・解釈を不要にし、OTDRテストを簡素化するように設計されています。その高度なアルゴリズムは、テストパラメータと、テスト対象のネットワークに最適な取得数を動的に定義します。複数の波長のマルチパルス幅を相関させることで、iOLMは最大限の分解能で故障箇所を特定します。

どのような仕組みになっているのですか？



従来のOTDRテストを、どのようなレベルの技術者にとっても、明確で自動化され、初めて正しい結果が得られるようにします。

iOLMの3つのメリット



iOLMのバリューパックとオプション

iOLMの標準機能セットに加えて、アドバンス・パッケージの一部またはスタンドアロン・オプションとして、付加価値の高い機能を選択できます。これらの機能の完全かつ最新の説明については、[iOLM仕様書](#)を参照してください。

#### iOLM標準

- ダイナミック・マルチパルス・マルチ波長捕捉
- インテリジェントなトレース分析と診断
- シングルリンク・ビューとイベント・テーブル
- SORトレース生成
- リンクごとに1つのiOLMファイルを作成して簡単にレポートを作成
- オプティモード: 高速ショートリンク

#### iOLMアドバンスド (iADV) <sup>a</sup>

- リアルタイムOTDR
- SORパルス・波長エディター
- SORトレースビュー
- カスタム要素
- 高度なリンク編集と再分析
- オプティモード PONラストマイル認証

#### iLOOP <sup>a</sup>

- iOLMループバック (単方向または双方向)
- TestFlow上でのiOLM自動双方向解析 <sup>b</sup>

a. iOLM標準を有効にする必要があります。

b. TestFlowのサブスクリプションが必要です。

# FastReporter

Data post-processing software

## すべての高度な機能を無料で手に入れる

FastReporterは、結果の品質と監査・報告の生産性を向上させるために設計された、統合データ管理および後処理ソリューションです。

FastReporterの最新バージョンをダウンロードし、アプリケーションを起動し、EXFO Exchangeアカウントを作成すると、すべての機能を無料でご利用いただけます。EXFO Exchangeは、ワークフロー、トラブルシューティング、フィールドテスト、レポートを自動化し、最適化します。

| 特徴                              | ファストレポーター（バージョン3）                   |                               |
|---------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
|                                 | ベーシック                               | 満杯<br>(EXFO Exchangeアカウントで無料) |
| ファイル数                           | 24件まで                               | 無制限                           |
| 測定タイプ                           | OTDR, iOLM, FIP, OLTS, OPM, CD, PMD |                               |
| 結果ビューア                          | ▪                                   | ▪                             |
| レポート - 基本 (PDF)                 | ▪                                   | ▪                             |
| レポート - 高度な (エクセル、PDF、カスタム)      |                                     | ▪                             |
| 基本分析 - Bidir (OTDRおよびiOLM)      | ▪                                   | ▪                             |
| 高度な編集                           |                                     | ▪                             |
| 自動化された検証と結果の修正                  |                                     | ▪                             |
| 職務管理と識別                         | 1ファイル                               | バッチ処理                         |
| Hundreds of additional features |                                     | ▪                             |

FastReporter (バージョン3) のベーシックバージョンとフルバージョンの比較。

## 光プラグアンドプレイ・オプション

MaxTesterはプラグアンドプレイの光学オプションを備えており、ご注文時または後日、必要な時にいつでもご購入いただけます。どちらの場合も、インストールは簡単で、ソフトウェアの更新を必要とせずにユーザーが実行できます。

### 光パワーメーター

業界最高の27dBmまで測定可能な高レベルパワーメーター (GeX)。これは、ハイブリッド光ファイバー同軸 (HFC) ネットワークや高出力信号には不可欠です。自動ラムダ/自動切り替え対応光源と併用すると、パワーメーターは同じ波長で自動的に同期するため、測定の不一致のリスクが回避されます。

### ビジュアル・フォルト・ロケーター (VFL)

プラグアンドプレイのVFLは、信号損失のその他の原因に加え、断線、曲がり、コネクタ不良、スプライス不良を簡単に識別します。この基本的でありながら不可欠なトラブルシューティング ツールは、すべての現場技術者のツールボックスの一部である必要があります。VFLは、断層の正確な位置に明るい赤色の光を発生させることで、最大5km離れた断層の位置を視覚的に特定し、検出します (オプティカル・パワー・メーターでのみ使用可能)。

## ファイバー・コネクタの検査と認証-OTDR試験の前に不可欠な最初のステップ

EXFOのファイバー検査スコープを使用して、光ファイバーコネクタを時間をかけて適切に検査することで、この先発生するさまざまな問題を未然に防ぐことができ、時間、費用、手間を省くことができます。さらに、オートフォーカス機能を備えた完全に自動化されたソリューションを使用すると、この重要な検査フェーズが迅速で手間のかからない1ステップのプロセスに変わります。

OTDR/iOLMのコネクタも重要であることをご存知ですか？

OTDR ポートやローンチ・ケーブルに汚れたコネクタがあると、テスト結果に悪影響を及ぼし、接続時に永久的な損傷を与えることさえあります。したがって、これらのコネクタを定期的に検査して、汚れがないことを確認することが重要です。検査を最初のステップにすることは、OTDR のパフォーマンスと効率を最大化する実証済みのベスト プラクティスです。



| 特徴                            | USB有線<br>FIP-430B | 無線<br>FIP-435B | 自律的<br>FIP-500 |
|-------------------------------|-------------------|----------------|----------------|
| 画像キャプチャ                       | ■                 | ■              | ■              |
| 500万画素CMOS撮像素子                | ■                 | ■              | ■              |
| 自動ファイバー・イメージ・センタリング機能とフォーカス調整 | ■                 | ■              | ■              |
| 自動ファイバー・イメージ・フォーカス調整          | ■                 | ■              | ■              |
| オンボード合否分析                     | ■                 | ■              | ■              |
| 合否LEDインジケータ                   | ■                 | ■              | ■              |
| EXFOプラットフォームまたはPCへのUSB接続      | ■                 | ■              |                |
| EXFOプラットフォームまたはPCへの無線接続       |                   | ■              |                |
| スマートフォンへの無線接続                 |                   | ■              | ■              |
| 半自動マルチファイバー/MPO検査             | ■                 | ■              |                |
| 全自動マルチファイバー/MPO検査             |                   |                | ■              |
| オンボード・タッチスクリーンとデータストレージ       |                   |                | ■              |
| 自動しきい値とクイックコネクタ機構を備えたスマーチップ   |                   |                | ■              |

詳細は [www.EXFO.com/fiberinspection](http://www.EXFO.com/fiberinspection)。

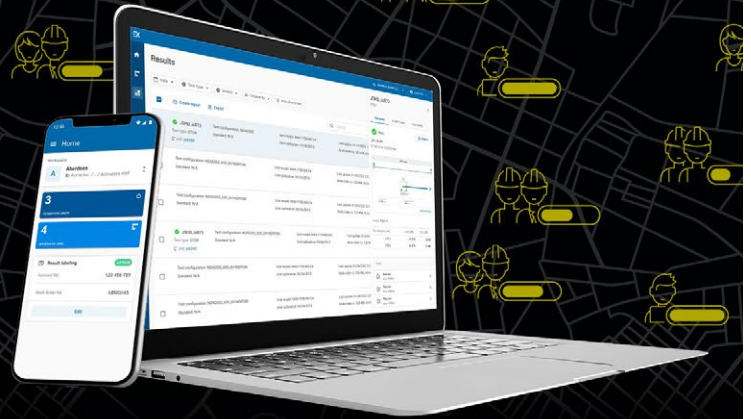


# EXchange

テスト結果を共有。コンプライアンスを強化。洞察力を解き放つ。

試験結果を共有し、コンプライアンスを確保するためのクラウドホスティングソリューション。

EXFO Exchangeは、EXFOの主要な試験装置と組み合わせることで、既存の運用プロセスとシームレスに統合しながら、エコシステム全体を推進します。



## 主な利点



検査結果管理の自動化



コンプライアンスと効率の向上



コラボレーションと可視性の向上



包括的なレポートへのアクセス



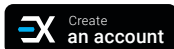
何が重要かを把握するためのインサイトを解き放つ

## 3ステップで簡単セットアップ

1

### EXFO Exchangeアカウントを無料で作成

EXFO Exchangeアカウントを作成することから始めましょう。アカウントの設定は簡単です。



2

### モバイルアプリのインストール

EXFO Exchangeアプリをダウンロードすると、互換性のあるEXFOデバイスのテストデータをクラウドに安全にアップロードできます(無料)。



MaxTesterおよびFTBユーザーの方は、ネイティブアプリをインストールしてください。



3

### 時間の節約と効率アップ

アカウントを作成し、モバイルアプリをインストールして互換性のあるEXFOデバイスとペアリングすると、すべての試験結果がクラウドに送信されます。ウェブアプリでは、招待されたすべてのテスターのフィールドテスト結果が表示されます。



始めましょう



## ソフトウェアユーティリティ

|                 |   |
|-----------------|---|
| ソフトウェア・アップデート   | お使いのMaxTesterが最新のソフトウェアであることを確認してください。  |
| VNCの設定          | VNC (Virtual Network Computing) ユーティリティにより、技術者はコンピューターやラップトップから本機を簡単にリモートコントロールすることができます。 |
| データムーバー         | 毎日の検査結果をすばやく簡単に転送できます。  |
| ドキュメンテーションの一元化  | ユーザーガイドおよびその他の関連ドキュメントに即座にアクセスできます。   |
| PDFリーダー         | レポートを PDF 形式で表示します。   |
| Bluetoothファイル共有 | MaxTesterとBluetooth対応デバイス間でファイルを共有します。  |
| WiFi接続          | WiFi FIP 検査スコープ・インターフェース。 テスト結果をアップロードします。  |
| 検査スコープ          | USBまたはWiFiスコープでコネクタを検査・解析。  |
| FTPサーバー         | WiFi経由でスマートフォンのFTPアプリケーションにファイルを交換し、現場からのファイル共有を容易にします。                                   |
| セキュリティ管理        | ユーザーパスワード（永久または更新可能）とカスタムプロパティメッセージによる改ざん防止セキュリティプロファイル。                                  |

## 効率性を追求したパッケージ

- |                  |                                      |                    |
|------------------|--------------------------------------|--------------------|
| ① シングルモードOTDRポート | ⑥ ビジュアル・フォルト・ロケーター (VFL)             | ⑪ 電源オン/オフ/スタンバイ    |
| ② スワップアウトコネクタ用ネジ | ⑦ 10/100Mbit/sイーサネット・ポート             | ⑫ バッテリーLEDステータス    |
| ③ テスト用LEDインジケーター | ⑧ 2つのUSB2.0ポート                       | ⑬ WiFi/Bluetooth内蔵 |
| ④ スタイルス          | ⑨ ACアダプター                            | ⑭ スタンドサポート         |
| ⑤ パワーメーター        | ⑩ ホーム/スイッチアプリケーションとスクリーンキャプチャ (ホールド) |                    |



仕様<sup>a</sup>

| 技術仕様                        |   |
|-----------------------------|---|
| 画面                          | 7インチ (178mm) 屋外用強化タッチスクリーン、800 × 480 TFT                      |
| インターフェース                    | USB2.0ポート2個、RJ45 LAN 10/100Mbit/s                             |
| ストレージ                       | 2GB内蔵メモリー (標準20,000 OTDRトレース)                                 |
| バッテリー                       | Telcordia (Bellcore) TR-NWT-001138に準拠した充電式リチウムポリマーバッテリー12時間動作 |
| 電源                          | 電源AC/DCアダプタ、入力100~240VAC、50~60Hz、9~16V DC1N最小15ワット            |
| 波長 (nm) <sup>b</sup>        | 1310±30/1550±30/1650±15                                       |
| ライブ波長 (nm)                  | 1650アイソレーション: 50dB (1265nmから1617nmまで)                         |
| ダイナミックレンジ (dB) <sup>c</sup> | 32/30/30  |
| イベントデッドゾーン (m) <sup>d</sup> | 0.9   |
| 減衰デッドゾーン (m) <sup>e</sup>   | 3.6   |
| 距離範囲 (km)                   | 0.1~200   |
| パルス幅 (ns)                   | 3~20,000  |
| 直線性 (dB/dB)                 | ±0.05   |
| 損失しきい値 (dB)                 | 0.01  |
| 損失分解能 (dB)                  | 0.001   |
| サンプリング分解能 (m)               | 0.04~5  |
| サンプリングポイント                  | 最大256,000   |
| 距離の不確かさ (m) <sup>f</sup>    | ±(0.75+0.005% × 距離 + サンプリング分解能)                               |
| 測定時間                        | ユーザー定義  |
| 反射率精度 (dB) <sup>b</sup>     | ±2  |
| 標準的なリアルタイム・リフレッシュ (Hz)      | 3   |

| インライン・パワーチェッカー <sup>g</sup>  |                                    |
|------------------------------|------------------------------------|
| 出力範囲 (dBm)                   | -60~23                             |
| 電力の不確かさ (dB) <sup>h, i</sup> | ±0.5                               |
| 校正波長 (nm)                    | 1310, 1490, 1550, 1625, 1650       |
| 選択可能な波長 (nm)                 | 1310, 1490, 1550, 1577, 1625, 1650 |
| トーン検出                        | 270Hz/330Hz/1kHz/2kHz              |

| 技術仕様 (オプションのOPM2付きインラインPON/パワーメータ) <sup>b, j</sup> |  |
|--|--|
| 出力範囲 (dBm)   | -60~23   |
| PON/パワーメーター (nm)                                   | 2チャンネル: 1490/1550および1490/1577                            |
| 電力の不確かさ (dB) <sup>a</sup>                          | ±0.5   |
| 校正波長 (nm)  | 1310, 1490, 1550, 1625, 1650                             |
| 選択可能な波長 (nm)                                       | 1310, 1490, 1550, 1577, 1625, 1650, 1490/1550, 1490/1577 |

a. 特に指定のない限り、すべての仕様は FC/APC コネクタを使用した場合、23° C ± 2° Cで有効です。

b. 典型的な。

c. SNR=1で最長パルスと3分間の平均化を行った場合の代表的なダイナミックレンジ。

d. 代表値: 反射率-35dB~-55dB、3nsパルス使用時。

e. 典型的な反射率は-55dBで、5nsパルスを使用。1310nmでの減衰デッドゾーンは通常5m、反射率は -45dB未満です。

f. ファイバーインデックスによる不確かさは含みません。

g. OPM2が選択されている場合は使用できません。

h. 校正された波長で。

i. エントリコネクタの健全性が良好である必要があります。

j. 仕様は、OTDRが動作していないとき、またはアイドル・モードのときに有効です。



## インライン・ソース

|                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 出力電力 (dBm) <sup>a</sup> | ・ 8          |
| 変調                      | CW、1kHz、2kHz |

## 一般仕様

|               |   |
|---------------|---|
| サイズ (高さ×幅×奥行) | 166mm×200mm×68mm (6.9/16 インチ×7.7/8 インチ×2.3/4 インチ)                         |
| 重量 (バッテリー含む)  | 1.5kg (3.3ポンド)  |
| 温度            | オペレーティング<br>ストレージ   |
|               | -10° C~50° C (14° F~122° F)<br>-40° C~70° C (-40° F ~158° F) <sup>b</sup> |
| 相対湿度          | 0%~95% 結露なし   |

内蔵パワーメーター仕様 (GeX) (オプション) <sup>c</sup>

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 校正波長 (nm)                    | 850, 1300, 1310, 1490, 1550, 1625, 1650 |
| 電力範囲 (dBm) <sup>d</sup>      | 27 ~ -50                                |
| 不確実性 (%) <sup>e</sup>        | ±5%±10nW                                |
| 表示解像度 (dB)                   | 0.01=最大~-40dBm 0.1=・40dBm~-50dBm        |
| 自動オフセットゼロ化範囲 <sup>d, f</sup> | 最大出力-30dBm                              |
| トーン検出 (Hz)                   | 270/330/1000/2000                       |


## アクセサリ (オプション)

|           |                          |         |                            |
|-----------|--------------------------|---------|----------------------------|
| GP-10-061 | ソフトキャリングケース              | GP-2208 | 予備スタイラス                    |
| GP-10-072 | セミ・リジッド・キャリング・ケース        | GP-2209 | 予備バッテリー                    |
| GP-10-100 | 堅いキャリングケース               | GP-2240 | ユーティリティグローブ                |
| GP-1008   | VFLアダプター (2.50mm~1.25mm) | GP-2242 | 交換用ハンドストラップ                |
| GP-2155   | 機内持ち込みサイズのバックパック         | GP-2243 | 予備のAC/DCアダプター (国の電源コードを指定) |
| GP-2205   | DC車載バッテリー充電アダプター (12 V)  | GP-3115 | キックスタンド                    |

## ビジュアル・フォルト・ロケーター (VFL) (オプション)

|   |
|---|
| レーザー、650nm±10nm                                       |
| CW/変調1Hz  |
| 62.5/125μm での標準 P <sub>out</sub> : > ・ 1.5dBm (0.7mW) |
| レーザー安全性: クラス 2  |

## レーザー安全性 (FDA 1040.10およびIEC 60825-1:2014に準拠)

|   |                   |  |   |   |
|---|-------------------|--|---|---|
| VFLあり:  |                   |  | VFLなし:  |   |
|  | <b>LASER</b><br>2 |  |  |  |
|   |                   |  | <b>LASER</b><br>1M  |   |

a. 典型的な出力パワーは1550nmで与えられます。

b. バッテリーパック使用時-20° C~60° C (-4° F~140° F)。

c. 23° C±1° C、1550nmおよびFCコネクタにて。 モジュールがアイドルモードの場合。 20分のウォームアップ後、バッテリー駆動。

d. 典型的な。

e. 校正条件にて。

f. 10° C~30° C、±0.05dBの場合。

## 注文情報

## MAX-715DXX-XXXX-XX-XX-XX-XX-XX-XX-XX

## 光学構成

SM1= ラストマイルOTDR、1310/1550nm

SM8 = ラスト・マイルOTDR1310/1550nmおよび1650nmライブ・シングル・ポート

## 基本ソフトウェア

OTDR = OTDRアプリケーションのみ有効にします。

iOLM = iOLMアプリケーションのみ有効にします。

Oi = OTDRおよびiOLMアプリケーションを有効にします。

## コネクタ

EA-EU1-28 = APC/DIN 47256

EA-EU1-89 = APC/FCナローキー

EA-EU1-91 = APC/SC

EA-EU1-95 = APC/E-2000

EA-EU1-98 = APC/LC

Eiコネクタ = 下記セクション参照

## iOLMソフトウェア・パック

00 = iOLMスタンダード

iADV = iOLMアドバンスド

## ソフトウェア・オプション

00 = 追加ソフトウェア・オプションなし

iLOOP = iOLMループバックモード

PSWRD = セキュリティ管理オプション

## パワーメーター

00 = パワーメーターなし

VFL = ビジュアル・フォルト・ロケーター (650 nm)

PM2X = パワーメーター、GeX検出器

VPM2X = VFLとパワーメーター、GeX検出器

## パワーメーターコネクタアダプター

FOA-22 = FC/PC, FC/SPC, FC/UPC, FC/APC

FOA-32 = ST: ST/PC, ST/SPC, ST/UPC

FOA-54 = SC: SC/PC, SC/SPC, SC/UPC, SC/APC

FOA-96B = E-2000/APC

FOA-98 = LC

FOA-99 = MU

## WiFiとBluetooth

00 = RFコンポーネントなし

RF = RF機能付き (WiFiおよびBluetooth) <sup>c, d</sup>

## 予備のFIP-400Bチップ

バルクヘッドチップ

FIPT-400-LC = バルクヘッドアダプター用LCチップ

FIPT-400-LC-APC = LC/APCチップ、バルクヘッドアダプター用

FIPT-400-SC-APC = バルクヘッドアダプター用 SC APC チップ <sup>f</sup>FIPT-400-SC-UPC = バルクヘッドアダプター用SC UPCチップ <sup>g</sup>

## パッチコード・チップ

FIPT-400-U12M = 1.25mm口金用ユニバーサルパッチコードチップ <sup>g</sup>FIPT-400-U12MA = 1.25mm口金用ユニバーサル・パッチコード・チップ APC <sup>f</sup>FIPT-400-U25M = mm フェルル用ユニバーサルパッチコードチップ <sup>g</sup>FIPT-400-U25MA = 2.5mm口金用ユニバーサル・パッチコード・チップ APC <sup>f</sup>

## ベースチップ

APC = FIPT-400-U25MAとFIPT-400-SC-APCを含む。

UPC = FIPT-400-U25MおよびFIPT-400-FG-SCを含む

検査スコープモデル <sup>h</sup>

00 = 検査スコープなし

FP430B = 自動分析デジタルビデオ検査スコープ 自動フォーカス 自動合否分析 トリプル倍率 オートセンターリング

FP435B = ワイヤレス分析 デジタルビデオ検査スコープ <sup>d</sup> 自動フォーカス 自動合否分析 トリプル倍率 オートセンターリング

例: MAX-715D-SM8-0i-EA-EU1-98-iADV-FP430B-APC

- a. これらのバリューパックの完全かつ最新の説明については、[iOLM仕様書](#)を参照してください。iOLMまたはOiベース・ソフトウェア・オプションを選択した場合のみ使用可能です。
- b. パワーメーターオプションが選択されている場合のみ使用可能です。追加のコネクタ アダプタも利用可能: EXFO にお問い合わせください
- c. 中国では利用できません。
- d. RF オプションは必須で、FP435Bファイバー検査スコープ・モデルを選択すると自動的に含まれます。
- e. このリストは、最も一般的なコネクタとアプリケーションをカバーするファイバー検査チップのセレクションですが、利用可能なすべてのチップを反映しているわけではありません。EXFOは、より多くのコネクタタイプとさまざまなアプリケーションに対応するため、幅広い検査用チップ、バルクヘッドアダプタ、キットを提供しています。詳細については、最寄りの EXFO 営業担当者にお問い合わせいただくか、[www.EXFO.com/FIPTips](#) にアクセスしてください。
- f. APCベースチップ選択時に付属。
- g. UPCベースチップ選択時に付属。
- h. ConnectorMax2 ソフトウェアが含まれています。

## Eiコネクタ



OTDRの性能を最大限に引き出すため、EXFOではシングルモードポートにAPCコネクタを使用することを推奨しています。これらのコネクタは、特にデッド・ゾーンでのパフォーマンスに影響を与える重要なパラメータである反射率を低くします。APCコネクタは、UPCコネクタよりも優れた性能を発揮するため、試験効率が向上します。

注: UPC コネクタも使用できます。注文部品番号の EA-XX を EI-XX に置き換えるだけです。追加のコネクタも利用可能: EI-EU1-90 (UPC/ST)。

EXFO JAPAN [contact-japan@exfo.com](mailto:contact-japan@exfo.com)EXFOは100カ国以上で2000社以上の顧客にサービスを提供しています。最寄りのオフィスの連絡先は、[contact-japan@exfo.com](mailto:contact-japan@exfo.com)にご連絡下さい。

最新の特許マーケティング情報については、[www.EXFO.com/patent](#) をご覧ください。EXFO は ISO 9001 の認証を取得しており、これらの製品の品質を証明しています。EXFOは、本仕様書に記載されている情報が正確であることを保証するためにあらゆる努力を払っています。ただし、当社はいかなる誤りや脱落についても責任を負いません。また、義務を負うことなくいつでもデザイン、特性、および製品を変更する権利を留保します。この文書における測定単位は、SI標準および慣行に準拠しています。また、EXFOの全製品はEUのWEEE指令に準拠しています。詳細については、[www.EXFO.com/recycle](#) をご覧ください。価格、納期、在庫については、EXFO JAPANまたは最寄りの EXFO 販売代理店までお問い合わせ下さい。

この仕様書の最新バージョンについては、[www.EXFO.com/specs](#) にアクセスしてください。

相違がある場合は、ウェブ版が印刷物よりも優先されます。